

「綱領」第6回講義

世界情勢——20世紀から21世紀へ（1）レジメ

2011年7月19日 講師 志位和夫

綱領の世界情勢論の特徴について

「2つの陣営」論を清算した

20世紀の人類史の巨大な変化の分析にたつて21世紀の世界をとらえる

この講義の方法——綱領の規定にそくして逐条的な解明をすすめたい

20世紀に進行した人類史の巨大な変化

植民地体制が完全に崩壊した

この変化はどうすすんだか——民族自決権が公認の原理になる歴史的過程

世界のすべての国ぐにが、世界政治の主人公になる新しい時代

民主主義と人権の流れの発展

国民主権の民主主義の流れの発展

国際的な人権保障——その歴史的発展と到達点について

戦争の違法化が世界史の発展方向として明確に

国際連合の創設と発展について

日本共産党の存在と活動は、この世界史の変化を促進するものとなった

資本主義から離脱した国ぐにと、社会主義をめざす新しい探究の開始

ソ連の評価の問題について

レーニンの時代——制約と試行錯誤はあるが「社会主義をめざす一連の積極的努力」

スターリン以後——社会主義の原則を投げ捨てた覇権主義・専制主義への転落

日本共産党の自主独立のたたかい

ソ連覇権主義の崩壊——その後の世界をどう変えたか

「資本主義から離脱した国ぐに」について

「社会主義をめざす新しい探究の開始」——「市場経済を通じて社会主義へ」など

「政治上・経済上の未解決の問題」について

これらの国ぐにの現在と今後をどうみるか